

福祉作文・第2回ふくし川柳コンテスト入賞作品

皆様からご応募いただいた福祉作文は市内小学生より139作品、
ふくし川柳コンテストには169作品のご応募をいただきました。今年度も様々な
思いが込められた素敵な作品をご応募いただき、ありがとうございました。

～福祉作文～ (敬称略)

大川市長賞

「住みやすい町にするには」
川口小学校 5年 山 浦 康之介

大川市議会議長賞

「わたしの経験」
木室小学校 5年 池 末 羽 希

大川市教育委員会教育長賞

「福祉体験を受講して」
大川小学校 5年 長 野 紗 季

大川市社会福祉協議会会長賞

「みんなで知ろう、認知症のこと」
木室小学校 5年 岡 凛々花

～ふくし川柳コンテスト～ お題 「家族」「幸せ」 (敬称略)

最優秀賞

湯気の奥 あふれる笑顔 いつまでも
孫八人 早く来い来い! いつ帰る?
止まらない 妻言う小言 耳通過

山 崎 夢 奈 (学生の部)
田 中 孝 親 (一般の部)
坂 井 洋 子 (高齢者の部)

大川市社会福祉協議会会長賞

家族はね 私にとっての たからもの
家族増え 忙しい日々 満ち足りて
ありがとう 今日もなんかい 言えたかな

龍 愛 純 (学生の部)
宮 崎 玲 子 (一般の部)
山 浦 照 子 (高齢者の部)

大川市老人クラブ連合会会長賞

頑張るぞ 家族のために お手伝い
幸せと 感じる心が 幸せ
ふすま越し 生きていますか いびきだけ

山 浦 紗 英 (学生の部)
松 本 利 香 (一般の部)
木 下 キヨ子 (高齢者の部)

生活支援体制整備事業 ささえあい通信

少子高齢化が進む中、5年、10年後を見据えながら、住み慣れた大川でいきいきと暮らしていくには今、何が出来るでしょうか。

市内でささえあい活動をされている方やこれから始めたい方の意見交換の場「地域ささえあいミーティング」を定期的に開催しています。このミーティングには働き方や福祉財団阿部かおりさんにもご参加いただき、地域づくりのノウハウや先事例を交えながら、参加している皆さんの熱い思いを実現できるように取り組んでいます。

「小学生の皆さんと交流を進めている」、「町内の広報で支え合いの必要性について周知した」など皆さんの行動力は大川の未来を明るくしますね!



超高齢社会だからこそ、 支え合いの重要性を痛感しています。

小保地区民生委員 吉原 玲子さん

(社協・以下社)現在、小保地区では支え合いの取組みに向けて地域の皆様と協議されていますね。なぜ支え合いの取組みが必要だと感じられたのですか?

(吉原)以下(吉)少子高齢化で介護保険制度もこの先不安な中、地域での助け合いが必要だと感じています。昨年、足を骨折し、2ヶ月の入院生活を送り、退院してから非常に不自由な思いをしましたが、やはり周りの方の手助けが欲しいと感じました。隣近所の方も非常に良くしていただいていたのですが、何でも自分でお願ひするのが心苦しかったり、逆に隣近所の方もどこまで手を差し伸べていいのか困っていらっしやることもあるのではと感じました。

(社)なるほど。小保地区では具体的にどのようなボランティアを展開される予定ですか?

(吉)草取り、ゴミ出し、清掃センターへのゴミの持ち込み、電球取り換え、建具家具の修理などです。特に市の清掃センターへの持ち込みは日にちを決めてやっていきたいと考えています。

(社)そうなんです。利用料金はどのようにされる予定ですか?

(吉)30分300円で、現金払いにする予定です。

(社)吉原さんの説明を受けて実際に「ボランティアしても良いよ」と言われた方は何名くらいいらっしゃいましたか?

(吉)8名の方が協力いただけると言ってくれました。

(社)それは心強いですね。地域には日常生活上のちょっとした困りごとをお持ちの方も多くいらっしゃるかと思えます。住民相互の支え合い、とても素晴らしいですね!最後に5年後・10年後、ご自身のお住まいの地区がどのようなまちになっていたら良いと思いますか?

(吉)最後まで安心、安全に暮らせるまちづくりを目指していきたいな。健康寿命を延ばし、住み慣れた地域で楽しく、幸せに生活していきたいと思っています。大きな夢ですけどね(笑)身体ももちろんですが、心も健康に生活し、お互い様の精神で頑張っていきたいです。

